

2019年度 国際情報発信力向上のためのプログラム

(B)論文投稿 募集要項

1. プログラム概要

経済学史学会の国際的認知度を高めるため、会員（特に若手会員）がその研究成果を海外に積極的に発信し、『経済学史研究』への英語論文を投稿することを支援する。

2. 応募資格

①若手枠 2019年4月1日現在の年齢が満40歳未満の会員。

②一般枠 上記以外の会員。

*『経済学史研究』に英語（または母語以外の言語）で投稿した会員を対象とする。

3. 応募後の義務

①論文が掲載された際、acknowledgementとして本プログラムおよびそのファンドとなった科研費（jsps kakenhi; 16HP3005）からの支援に言及すること。

②公刊が決定した場合は、直ちに学会事務局に報告すること。

4. 支援内容

英文校閲費のみ。領収書（原則として、投稿時から3ヶ月以内の発行）などの証憑*の提出をもって、実費部分を事後的に助成する。ただし、一件につき上限を20万円とする。

5. 募集件数

若干数。ただし、会員一名につき、(A)と(B)を含めて一件のみの支援となる。

6. 応募締切

2019年4月15日（月）とする。

* 予算に余裕がある場合は、6月15日、8月15日...という形で二ヶ月毎に締切

* 次の3つが少なくとも含まれること、①総語数。②一語当たりの単価が明示された請求書または領収書。③題名・実際の校閲状況が明示された本文の一部。

を設定し、引き続き募集を続ける（募集打ち切りの場合は、その旨学会ホームページおよびメーリングリストで告知を行う）。

7. 応募手続

次の3点を添付して、電子メールで応募すること。

- ①申請書（学会ホームページで入手可）および履歴書・業績一覧（形式自由）
- ②投稿した論文の英文要旨
- ③投稿した証拠となる書類（メール返信やウェブ画面の画像を含む）

提出先：佐藤方宣（事務局補佐（書記）；masanobu@kansai-u.ac.jp）

8. 審査方法と結果発表

審査は常任幹事会が行い、締切後2～3週間を目途に、結果に応募者に通知する。支援の決定した会員氏名は、『学会ニュース』（2019年7月号および2020年1月号）において公表する。応募者多数の場合は若手を優先する。

9. 応募における留意点

学会費の未納がある場合、過去に受けた当プログラムの支援に関する義務を果たしていない場合、などには支援を行わない。特に、2014年度以降の通算で三回目以上の応募に関しては、最後の応募分を除き、当該論文の公刊が確定していることが応募の要件となる。

10. 問い合わせ先

出雲雅志（代表幹事；izumo@kanagawa-u.ac.jp）および

佐藤方宣（事務局補佐（書記）；masanobu@kansai-u.ac.jp）に同報